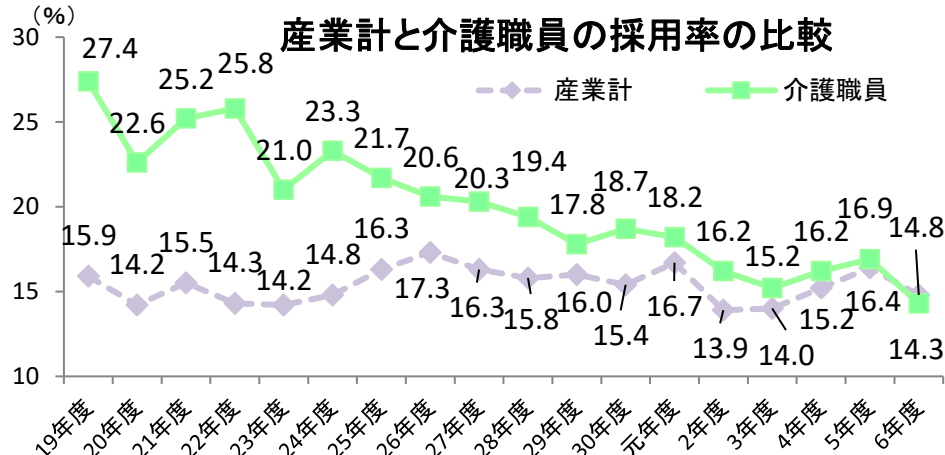
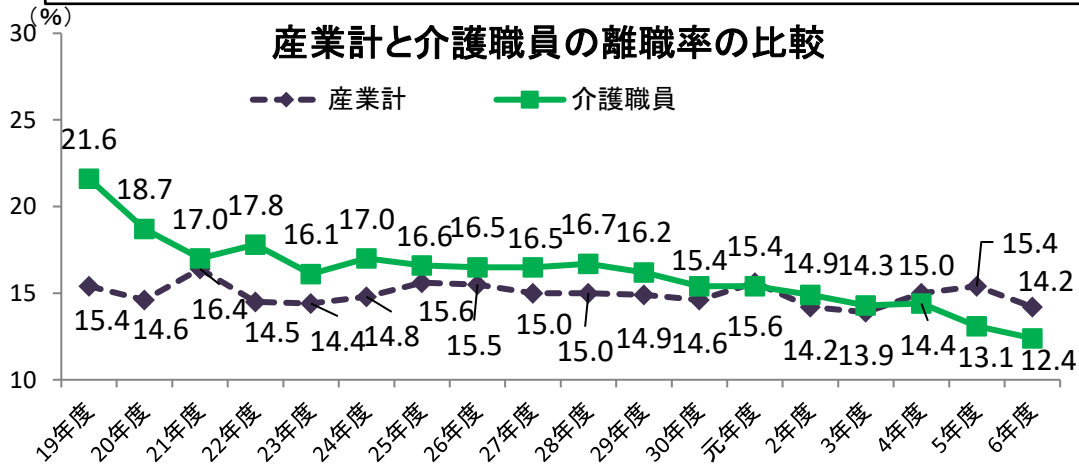
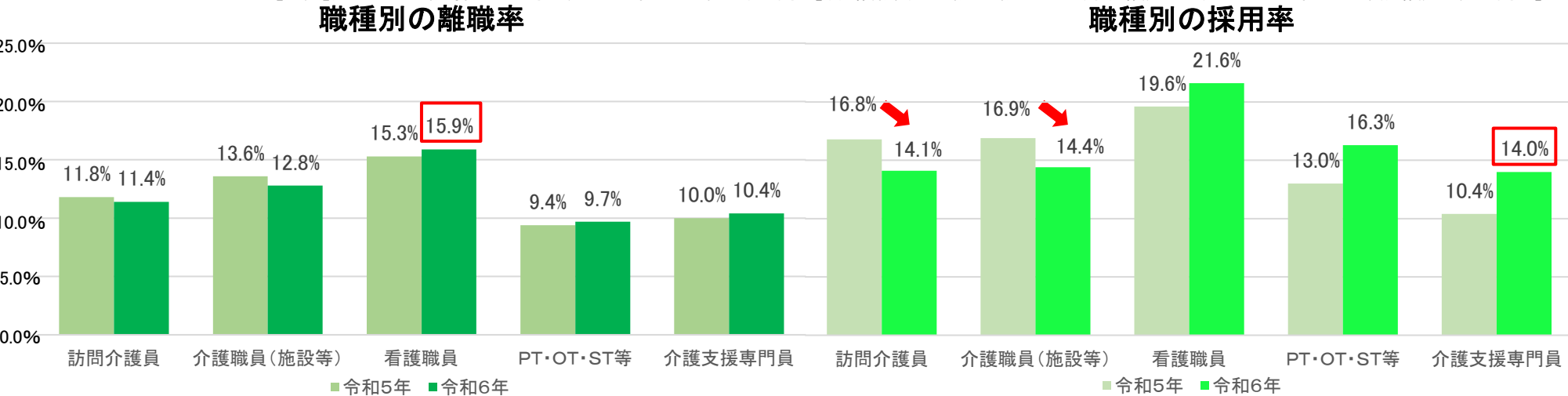


# 介護等分野における入職・離職の状況

- 介護サービス事業所における介護職員の離職率は低下傾向。一方で、介護職員の採用率は産業計より高い値で推移していたが、令和6年度の介護職員の採用率は産業計を下回った。
- 「訪問介護員」、「介護職員(施設等)」の採用率は、令和5年度と比較して令和6年度は低下している。
- 「看護職員」の離職率は、「訪問介護員」及び「介護職員(施設等)」よりも高い状況となっている。
- 「介護支援専門員」の採用率は、「訪問介護員」及び「介護職員(施設等)」よりも低い状況となっている。



【出典】産業計の離職(採用)率: 厚生労働省「令和6年雇用動向調査」、介護職員の離職(入職)率: ((公財)介護労働安定センター「令和6年度介護労働実態調査」)



注1) 離職(採用)率＝1年間の離職(入職)者数÷労働者数  
注2) 介護職員(施設等): 訪問介護以外の指定事業所で働く者。訪問介護員: 訪問介護事業所で働く者。  
介護職員とは「介護職員(施設等)」及び「訪問介護員」の2職種全体をいう。

【出典】令和6年度介護労働実態調査 ((公財)介護労働安定センター)